

鉄道ピクトリアル

2014年8月号 Vol.64 No.8 通巻No.892

＜特集＞ E231系・E233系電車

■表紙 E231系の始祖 中央・総武緩行線の900番代車……編集部

御茶ノ水-水道橋 2014-6-10

キヤノンEOS-1D Mark IV EF300mm F4L IS 絞り f7.1 タイム1/400 ISO200

■グラフ

都会の足、都会の顔 (1～8ページ)

松田 巧・河原慶明・池添智和・安田孝哉・真島茂幸
戸塚光弘・高木喜一・末石和寛・佐藤利生・早川昭文
三島達夫・山口大助・太田正行・杉崎健一・金子 聡
神山齊洋・編集部

国鉄～JR東日本 首都圏通勤形電車の系譜 (92～93ページ)

……………佐藤利生・太田正行・上條隆史・井上英樹

E231系・E233系の客室内カラー ……………構成：編集部(94ページ)

相模鉄道10000系と11000系……………大里 信之(95ページ)

*

首都圏通勤形電車 戦後発展の軌跡 ……………伊藤 昭・伊藤威信… 27
209系からE233系へ 写真で見る20年の車両の進化

……………日向 旭… 32

情報提供装置 VISにみるE233系・E231系のバリエーション

……………高瀬 智嗣… 35

E233系のメーカーと製造時期による差異

……………石田敦巳・平松寛介・森井幹也… 36

JR東日本 E231・E233系電車形式集……………構成：編集部… 38

*

Pictorial Color Gallery ハマ線賛歌……………加藤 和毅… 89

北近畿タンゴ鉄道KTR707「くろまつ」/東京地下鉄05系
千代田線北綾瀬分岐線用/JR北海道江差線木古内-江
差間廃止/JR東日本常磐線広野-竜田間運転再開/万
葉線が高岡駅へ延伸ほか 96～99
108～109

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)……………100

2014年 相模鉄道の話……………大里 信之…110

ミャンマー国鉄 元日本型車両動向……………尾崎 知史…112

■本文

今月の話題：E231系・E233系……………編集部… 9

国鉄～JR東日本 首都圏通勤線区 車両のあゆみ

……………芳田あきら・前納浩一・永尾信幸… 10

E231・E233系ベースの民鉄車両 相模鉄道10000系・11000系

JR東日本新系列車両の足跡—901系からE233系まで

[付 E231系・E233系編成・製造一覧表]

……………日向 旭… 46

*

鉄道の話……………編集部… 45

小田急多摩線開業40周年 開通1番列車乗車記……………梅沢 賢治… 86

書評(602)『鉄道ファンのための私鉄史研究資料』……………三木 理史… 88

都市・地域鉄道の政策転換を考える—交通政策基本法成立の背景と意義—

……………宇都宮淨人…113

平成26年度JR各社の事業計画……………編集部…118

絵葉書が描く地方私鉄の昔むかし(8) 庄内電気鉄道……………白土 貞夫…124

5月のメモ帳……………126

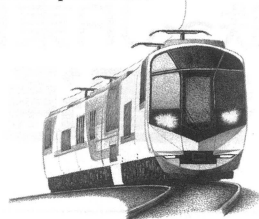
読者短信・情報ファイル……………127

後部車から……………131

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット：山本茂樹

E231系・E233系電車

明治末期、国電が出現以来、国鉄からJRへの歴史において、電車技術は大発展を続けるとともに、日本の鉄道輸送を支えてきた。湘南電車、こだま形電車、寝台電車など数多くの名車と称される電車を輩出し、世界に誇る鉄道発達の歴史を彩っている。一方、そうした華々しさはないが、日常利用する庶民の足として、通勤電車の発展も忘れてはならない。戦後の復興に貢献した63系から国電初の高性能電車90系(101系)、さらに103系が標準タイプとして大量増備され、201系から205系へと昭和の国鉄時代、鉄道が担う都市輸送の主役として活躍してきた。その主たる運用地域はいくまでもなく東京および大阪圏であり、そのうち東京圏は国鉄・JRにおける通勤輸送のメッカと位置づけられよう。

こうした視点から概観すると、東京圏で使用されてきた国鉄・JRの通勤電車は、日本の代表的通勤車の位置づけを担うものであり、その意味で1987(昭和62)年にJRが発足し、JR東日本で1992(平成4)年にデビューした901系を端緒とする一連の通勤車系列は、今日のわが国通勤車のスタンダードといえる存在となった。901系から209系、E231系、そして現在の最新系列であるE233系への展開は、車両システム発展の縮図であり、現代の通勤車両のあり方を理解するうえで好例といえよう。走行機器はもとより、ステンレス車体・4扉、客室設備に至るまでほぼ画一化されたこれら通勤車系列の流れは大手民鉄の通勤車にも及んでおり、車両の標準化が大きく進展している。一見して同形態の通勤車が氾濫して、趣味的には面白味に欠ける側面もあるが、設計上の細かな変更点も数多く、その本質を探求していくと、今日の鉄道趣味の題材としては興味は尽きない。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlight Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan